

ここから看護学教育が
変わる。

タワー棟(建設中)

附属病院

看護学部棟

医学部棟

看護学研究科

博士前期課程
博士後期課程

2022年度大学院案内

医育・医療機関で学ぶ 高度な 看護専門学

昭和3年(1928年)に大阪女子高等医学専門学校として創設され、昭和29年(1954年)に男女共学化、関西医科大学への改称を経て、創立93年の歴史を刻む本学。これからの医療は、医学と看護学が両輪の如く、双方が互いに協力し、補い合うだけでなく、それぞれの持つ専門性の高い知識と技術を互いに活かし、より高度の医療を実践することが何よりも重要であると考え、平成30年(2018年)に看護学部看護学科と大学院看護学研究科を開設し、大学院前期修士課程15名、後期博士課程1名が卒業しました。

本学は、西日本で有数の高度・専門の医療・医育機関であり、4つの附属病院を有し、介護・福祉・リハ関連設備を備え地域包括医療ネットワークを構築しています。また関連施設との連携を強みに実践的な専門教育を展開しています。本学は、多様な病気や生活の場に適した最良の看護を提供できる実践力を備えた看護職の育成とともに、十分な看護実践の経験を持ち、実践に根差した優れた教育・研究能力を有する教育研究者の育成を目指しています。

学長 友田 幸一



前期課程・後期課程分野一覧



*高度実践看護師コース

高度な看護実践力および 教育・研究力を身につけ 国内外の人々の健康に寄与できる 看護職者を育成

少子高齢社会では看護に求められるニーズは、これまでの看護の知識だけでは対応できない水準にまで多様化・複雑化しています。身体機能低下を抱えた高齢者の生活をどのように支えるのか、労働者の高齢化に伴う健康維持やゲノム医療に至るまでさまざまな課題が山積している中、より住みやすい社会になるよう政策提言を看護の視点から行うことは、今後の健康社会実現に不可欠であり、これらの課題を理解し解決を目指す人材の育成が急務となっています。関西医科大学では、こうした社会の要請に応えるため、平成30年(2018年)4月、看護学研究科を設置し、既に博士前期課程・後期課程では修了生が出はじめました。博士前期課程では、基盤看護、広域看護、生涯発達看護、治療看護の4分野を設け、4分野の各領域でそれぞれの専門性を高めた教育を実践しています。また、博士後期課程では領域を超えて看護実践を創造する研究者・教育者の育成を目指しています。

看護学部長・看護学研究科長 片田 範子

教育理念(大学院看護学研究科)

関西医科大学大学院看護学研究科は、建学の精神である「慈仁心鏡」に基づき、深い教養と高い倫理観および人間愛を基盤とした精深な学識を授け、人の尊厳を尊重し、生命・健康・生活を統合した高度な看護実践力、研究力および教育力を養い、看護学の進展・革新と共に社会の発展と平和に寄与する人材を育成することを教育理念とする。

看護学研究科の概要

博士前期課程	標準修業年限	2年
	入学定員	20名
	取得学位	修士(看護学)(Master of Science in Nursing:M.S.N)
博士後期課程	標準修業年限	3年
	入学定員	5名
	取得学位	博士(看護学)(Doctor of Philosophy in Nursing:Ph.D)

沿革

1928年	枚方市牧野に大阪女子高等医学専門学校設立認可
1932年	守口市に附属病院(現総合医療センター)を開設
1947年	大阪女子医科大学設立認可/附属香里病院を開設
1952年	新制大学「大阪女子医科大学」設置認可
1954年	校名を「関西医科大学」と改称、男女共学制実施
1961年	関西医科大学大学院(医学研究科)設置認可
2006年	附属枚方病院(現附属病院)開設/附属生命医学研究所設置
2010年	香里病院開設
2011年	病態分子イメージングセンター設置
2012年	天満橋総合クリニック開設
2013年	大学本部を枚方学舎へ移転
2016年	総合医療センター新本館開設 関医訪問看護ステーション・香里設置
2018年	看護学部及び大学院看護学研究科開設 くずは病院開設 総合医療センターグランドオープン 創立90周年
2019年	関医訪問看護ステーション・滝井設置 関医・看護師リカレントスクール開講 地域医療連携推進法人北河内メディカルネットワーク認可
2020年	関医訪問看護ステーション・枚方設置
2021年	リハビリテーション学部開設 タワー棟竣工

博士前期課程 *Master Program in Nursing*

アドミッション・ポリシー

- ① 高い倫理観を基盤に、自らの看護の力について語れる人。
- ② 看護実践で生じる様々な現象や課題を見極め、看護の質向上に寄与したい人。
- ③ 看護あるいは保健・医療・福祉・教育における新たな問題を自主的に解決したい人。
- ④ 実践に根差した研究課題に取り組むために必要な研究方法を学びたい人。

ディプロマ・ポリシー

共通

- ① 保健・医療・福祉・教育に関する情報を多面的に収集し、科学的・論理的に考察し、多職種と協働できる。
- ② 看護実践および教育と関連した研究課題について探求できる。
- ③ 人々の生活の質(Quality of life:QOL)のため、看護実践の変革に寄与できる。

高度実践看護師コース

- ① 医療の専門家であるという自覚と高い倫理観に基づいた高度看護実践を提供できる。
- ② 地域で暮らす人々の歴史や環境を理解し、生活に根差した健康の維持・推進のため体系的な高度看護実践を提供できる。
- ③ 高度先進医療を受ける人々、さらに受けた人々の多様な状況・社会背景を理解し、中・長期的な視野での高度看護実践を提供できる。

臨床看護教育者コース

- ① 看護職の看護実践能力育成のため、エビデンスに基づく体系的な教育プログラムを開発できる。
- ② 看護職の能力開発のため、個別または集団への教育や支援ができる。

研究者コース

実践に根差した研究課題に必要な研究方法を用いて研究に取り組み、基礎的な研究力を修得できる。

カリキュラム・ポリシー

共通

- ① 実践を支えるための基本的な理論を学ぶ授業を配置する。
- ② 環境と健康との関連を、地域・国内・国際的視野で捉え、看護がなすべき方向や課題を考え、変革する力を養うための科目を博士後期課程と合同で配置する。
- ③ 看護実践、教育との研究を有機的に連動させ、科学的根拠に基づいた看護実践へと変革するための研究法の授業を配置する。
- ④ 看護の専門的知識を実践に根差して捉えるため、専門領域には講義・演習・実習を配置する。

高度実践看護師コース

- ① 人々の多様な状況・背景を理解し、高度看護実践力を獲得するために、実習環境を整える。
- ② 学生が自ら実践力を客観的に判断し高度看護実践へと導くため、シミュレーション教育を積極的に導入する。

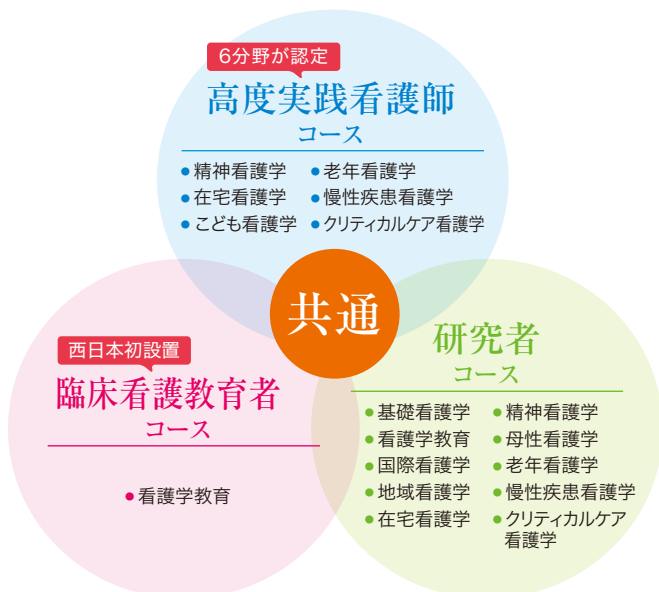
臨床看護教育者コース

看護基礎教育、新人教育、継続教育等の看護教育を受ける者の発達段階やレディネスに応じた教育が展開できるよう、環境を整える。

研究者コース

一連の研究プロセスを重点的に学び、研究を遂行するために、研究課題を焦点化する目的で演習(フィールドワーク等)を配置する。

博士前期課程では、以下の3つのコースを設置しています。



[博士前期課程] 共通科目

科目/区分		授業科目		
共通科目	共通科目A	共通看護学	<ul style="list-style-type: none"> 看護理論 看護管理学 看護教育論 	<ul style="list-style-type: none"> コンサルテーション論 看護倫理 看護政策論
		研究法	<ul style="list-style-type: none"> 疫学的研究法 量的研究法 質的研究法 	
		特別科目	<ul style="list-style-type: none"> 環境看護論Ⅰ 看護の課題・展望Ⅰ 家族看護学 	<ul style="list-style-type: none"> リハビリテーション看護論 災害看護学
	共通科目B	共通看護学	<ul style="list-style-type: none"> 高度フィジカルアセスメント 高度病態生理学 	<ul style="list-style-type: none"> 高度臨床薬理学 臨床推論・診断学
	共通科目C	共通看護学	<ul style="list-style-type: none"> 高度実践看護師の役割と機能 ヘルスプロモーション・疾病予防 	<ul style="list-style-type: none"> プライマリケア看護 医療の質保証と安全管理
	計22科目			

博士前期課程の 特色

- 人々の生活に根差した看護実践に必要な高度な専門性を有する人材の育成
- 人々の健康に寄与するための教育能力を有する人材の育成
- 看護実践を変革につなげる研究者としての基礎的能力を備えた人材の育成

博士前期課程の授業では、科目担当者が講義を行い、演習においては学生が科目に関する文献検索・検討した内容と、自らの実践の臨床経験に照らした内容について発表し、科目担当者がコメントします。演習には、フィールドワークが含まれます。

3コースのいずれかに在籍しても、共通科目およびそれぞれの領域の必修科目を履修します。これらに加え、4つの分野の他の専門科目を履修することも可能です。

高度実践看護師コース

このコースでは、専門看護師に必要な6つの役割「実践・相談・調整・倫理調整・教育・研究」を果たし、医療機関や地域の看護の質の向上に貢献することができる、高度な実践力を備えた専門家を育成します。

実習

臨地実習では科目の履修で身に付けた専門知識と高度な技術を基に、臨地実習先で専門看護師に求められる能力を修得することを目的とします。実践力を客観的に判断し高度看護実践へと導くため、シミュレーション教育を積極的に導入しながら、プライマリケアから高度先進医療を担うという医療提供レベルの異なる施設で実習を行います。

臨床看護教育者コース

このコースでは、実践者への教育を通して人々の健康に寄与するための教育能力を備えた臨床看護教育者を育成します。看護職の能力開発を目的とした個別または集団への教育や支援のための能力を身に付けます。

実習

看護基礎教育、新人教育、継続教育等の看護教育を受ける者の発達段階やレディネスに応じた教育が展開できるよう、指導教員と共に関西医科大学看護学部生および附属病院看護師への教育を企画し実施します。

研究者コース

このコースでは、看護の質向上に向けて実践に即した看護学の研究を推進し、看護実践を変革につなげることができる研究者を育成します。疫学的・量的・質的研究方法を学習し、文献検索・検討や学術論文執筆に関する優れた研究能力を涵養します。

実習

実践に根差した研究に取り組むため、研究課題を焦点化するためのフィールドワークを中心に実習を行います。

PICK UP!

さらに多様なコースを選択できるようになります。

日本看護系大学協議会 高度実践看護師ナースプラクティショナー (NP:Nurse Practitioner) 教育課程を検討中

- こども看護学 ● 地域看護学

一般社団法人日本看護系大学協議会の高度実践看護師教育課程には、専門看護師(CNS:Certified Nurse Specialist)とナースプラクティショナー(NP:Nurse Practitioner)の2種類の課程があります。関西医科大学大学院看護学研究科は6分野がCNS教育課程に認定されていますが、さらに教育を充実させるために、NP(Nurse Practitioner)教育課程を検討しています。

【修士論文の進め方】

	1年次			2年次		
	1学期	2学期	3学期	1学期	2学期	3学期
高度実践看護師コース	所定の科目の履修をすす	演習やフィールドワークにより臨床現場での看護上の課題を探索する 指導教員と相談の上、テーマを絞る	研究計画書の作成・提出 課題と副指導教員の決定	倫理委員会申請 研究の実施		
臨床看護教育者コース	めつつ、各領域で研究課題を模索しながら、文献検討を通して課題を明確にする。	演習やフィールドワークにより臨床現場での看護上の課題を探索する 指導教員と相談の上、テーマを絞る	研究計画書の作成・提出 課題と副指導教員の決定	倫理委員会申請 研究の実施	論文作成	論文提出 論文審査 学位授与審査 修士論文発表会
研究者コース		指導教員と相談の上、テーマを絞る 課題と副指導教員の決定 研究計画書の作成	研究計画書の提出 研究計画審査委員会審査 倫理委員会申請	研究の実施		

※スケジュール・内容は目安です。

[博士前期課程] 指導教員の研究概要

分野	主領域	指導教員	研究課題
基盤看護分野	基礎看護学	片田 範子	実践科学として取り組むべき現象を臨床体験や文献などの体系的探索を通して特定し、看護現象の構造を明らかにする。倫理的側面に焦点をあてた看護介入や現象も含め、看護方法論の開発などを目的とした研究的探求を支援する。
	基礎看護学	藤本 悦子	あらゆる分野での看護技術の検証と開発、睡眠、温・冷電法、リンパ浮腫ケア、起立性低血圧に関する研究、組織再生に関する研究を指導する。また糖尿病に焦点を当て、これらの看護技術の在り方と開発に関する研究を指導する。
	国際看護学	近藤 麻理	国際看護学領域でのグローバルな健康課題を文献や資料から検討し、現地におけるフィールド調査を中心とした研究計画書を作成する。国際的な研究において配慮すべき点などを十分に理解したうえで、調査を行い修士論文にまとめる。
	看護学教育	安酸 史子	看護教師の省察的実践力に関する研究、経験型実習教育に関する研究、教師教育の方法論に関する研究、ケアリング・サイクルの形成に関する研究の指導を行う。
広域看護分野	精神看護学	三木 明子	精神疾患、精神障害、精神健康の問題を抱えた対象者に対する精神症状の評価と看護介入、看護師のストレスマネジメントとメンタルヘルス支援、暴力・ハラスメント被害者への支援に関する研究指導を行う。
	在宅看護学	李 錦純	在宅ケア分野における経営管理と人材育成、多文化社会における高齢者ケア、医療機関看護職における入退院支援、中山間地域における訪問看護などに関する研究指導を行う。
	地域看護学	上野 昌江	保健師の支援技術の明確化(保健師対象)、困難事例へのケアモデルの構築(親や家族への支援)、個人・家族、集団、地域を対象とした地域看護実践における支援技術の研究に関する指導を行う。
生涯発達看護分野	こども看護学	加藤 令子	こども自身の主体的な医療参加に関する研究、障がいのあるこどもや医療を必要とするこども自身の自然災害への備えに関する研究、こども看護における高度看護実践看護師の役割・機能に関する研究について指導を行う。
	母性看護学	酒井 ひろ子	女性の健康課題に対する支援、周産期にある女性とその家族を対象に、健康の保持増進、親そして家族発達を促進する支援、開発途上国の地域住民を対象とした保健医療活動や支援についての研究指導を行う。
	老年看護学	水野 敏子	高齢者のend of Life careの開発、認知症を有する高齢者の看護、高齢者を介護する家族の介護負担や介入方法、高齢者の転居や継続看護に関する研究など、急性期から在宅ケアまで多様な場における看護の研究指導を行う。
治療看護分野	慢性疾患看護学	瀬戸 奈津子	糖尿病、慢性心不全、慢性呼吸器疾患、炎症性腸疾患等をもつ成人・高齢者の慢性疾患看護、および外来看護をテーマにした研究指導を行う。
	クリティカルケア看護学	林 優子	急性・重症患者、家族、看護師を対象とするクリティカルケア看護、治療・ケア選択の意思決定支援や倫理的実践、高度治療看護(救急、手術、移植)などに関する研究指導を行う。

Message

博士前期課程 担当教員からのメッセージ

藤原 史博 講師

基礎看護学領域

私は看護管理学を専門としています。高度な看護実践や看護教育について、個人としての取り組みからチームや組織としての取り組みへと戦略的に発展させる手法について検討します。その過程では、自らが実践しようとする高度な取り組みがいかに関護の質に貢献するといえるのかを言語化し、説得力をもって表明するための方略についても議論します。また、組織内のマネジメントに限らず、社会におけるヘルスケアをシステムとして俯瞰的に捉え、その中の看護職のあり方についても探求します。

安酸 史子 教授

看護学教育領域

博士前期課程には、臨床看護教育者コースと研究者コースがあります。両コースとも専門科目として「看護学教育論」「看護人材開発・生涯学習論」「看護実践教育カリキュラム開発演習」を学びます。臨床看護教育者コースでは看護実践教育実習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲがあり、実践的なスキルの習得を目指します。看護学教育領域では、ケアリングマインドを持ち、かつ看護学の知識とスキルを持つ質の高いケアを提供する看護師を育成するという看護教育学の観点から教育・研究を進めています。

近藤 麻理 教授

国際看護学領域

国際看護学領域では、看護をグローバルな視点からとらえ、世界の人々の健康課題を分析し多様なフィールドを対象として研究をすすめていきます。看護学における理論構築や概念分析も世界の看護職にとって重要な共通テーマです。世界中の看護職が協力・連携して、看護学の更なる発展と看護実践の躍進に寄与するため、将来は、ICN、WHOや国際機関、日本の外務省や厚生労働省の国際部での活躍を期待しています。

上野 昌江 教授

地域看護学領域

地域看護学領域では、地域で生活するあらゆる年齢、あらゆる健康状態にある人々の生活の質の向上とそれを支える健康で安全な地域社会の構築を探究しています。研究コースでは学生自身の研究動機・研究疑問を大切に、研究テーマ、研究計画書に結び付けていきます。地域において根拠に基づいた看護実践を行うために必要な研究手法の基本を身につけ、計画に沿った研究の実施(データ収集、分析等)、論文執筆、発表・論文投稿に向けて支援していきます。地域看護実践で活用できる研究のスタートとなる学びを一緒にしていきます。

武 ユカリ 講師

在宅看護学領域

本学の附属病院には訪問看護ステーション等介護事業部門があり、CNS実習の環境が充実しています。附属病院の地域医療連携部でも、在宅移行支援や多職種連携の実践を学べます。昨年度修了生は、現在在宅CNSとして活躍中です。私の研究テーマは訪問看護における困難事例や暴力、倫理コンサルテーションで専門職への暴力対策研修も行っています。今年度より研究者コースが新設され、在宅における幅広い研究テーマにも対応します。臨床で感じている疑問やジレンマをテーマに、研究に取り組んでみませんか。

矢山 壮 講師

精神看護学領域

精神障害があったとしても、その人らしく充実した人生を生きていくプロセスであるリカバリーについて研究をしています。また、精神障害者のみならず、全ての人へがメンタルヘルスを良い状態に維持するためのツールの一つである元気回復行動プランと呼ばれるWRAP(Wellness Recovery Action Plan)に着目し、様々な取り組みもおこなっています。特に看護師が自分らしく働くためのツールとしてWRAPの有用性について研究しています。ぜひ一緒に学びましょう。

原 朱美 講師

こども看護学領域

こども看護援助論・こども看護調整技術・こども高度看護学演習Ⅰを担当しております。これらの講義科目とミュレーション演習では、みなさんのこれまでの経験を、こどもの理解につながるセルフケアをはじめとするいろいろな理論を用いて考え直します。きっと、知的好奇心を大きく揺さぶられながら、新たな知見を得ることができるでしょう。ご自身の学びや経験が、よりこどもらしい暮らしや育ち、ご家族へのサポートにつながるよう一緒に考えていきましょう。

川崎 有紀 助教

母性看護学領域

母性高度看護学演習Ⅰ・Ⅱを担当しています。主に、妊娠糖尿病と診断された女性の将来の糖尿病発症予防や産後のフォローアップ体制に関する研究、心理・社会的ハイリスク母子への産前産後支援、地域母子保健活動を行う助産師の資質向上に関連した活動に取り組んでいます。国内外の女性の健康維持増進、そして次世代を担う子育て家族に着眼して大学院でお互いに学び合います。生涯にわたる女性とその家族の健康と一緒に追究しましょう。

伊坪 恵 助教

老年看護学領域

老年高度看護学実習Ⅱ・Ⅲを担当しています。実習では複雑な看護ニーズを持つ高齢者とその家族について統合的に評価する能力を高め、cureとcareを統合した看護が実践できることを目標としています。私自身も老人看護専門看護師の認定を受けています。高齢者の「意思」を尊重し「最期まで「人間らしく」過ごせる」ことを支援する老人看護専門看護師として将来活躍できるよう、一緒にがんばりましょう。

村内 千代 助教

慢性疾患看護学領域

慢性疾患看護学演習と実習に関わっています。高度実践看護師コースでは、病院・クリニック・訪問看護ステーションでの実習をとおして、色々な角度から慢性疾患看護やCNSの役割について学ぶことができます。慢性疾患看護学領域の学生や教員は、それぞれ背景が異なり、さまざまな研究テーマをもつメンバーが在籍しています。お互いの経験や看護への思いを大切にしながら看護を探究し、医療の現場に還元できる研究、そして高度な実践能力の獲得に一緒に取り組んでいきましょう。

谷水 名美 講師

クリティカルケア看護学領域

クリティカルケアは生命の危機的状況にある人への援助ですが、危機的状況は様々な場所や状況で起こりえます。本領域では救命救急や周手術期、臓器移植の看護について、経験豊富な急性・重症患者看護専門看護師・様々な専門職と担当教員の連携のもと、ディスカッション等を通して、最新の治療や技術、トピックスを幅広くおさえつつ学びを深めていきます。高機能シミュレータを用いた模擬的状況で、高い臨床判断能力・倫理観、実践力を培う授業も展開しています。ぜひ一緒に学びを深めましょう。

博士後期課程 *Doctoral Program in Nursing*

アドミッション・ポリシー

- ① 人の尊厳を尊重し、高い倫理観のもとで社会に貢献する意思と使命感を有する人。
- ② 専門分野に精通した知識と柔軟な発想を有する人。
- ③ 看護実践力を基盤とし看護を取り巻く環境で生じる現象を見極め、教育と研究を推進できる人。
- ④ 生活する人の視点とグローバルな視野を併せ持ち、看護の革新を目指す人。
- ⑤ 看護学の発展につながる研究力・教育力および革新する力を高めることへの強い意志を有する人。

ディプロマ・ポリシー

- ① 看護実践に不可欠な科学的・学際的な知識を基に看護実践を創造するための自立した研究活動、および次世代の看護を見据えた教育力をもつことができる。
- ② 国内外の専門家と協働して、人々の健康と生活に関わる社会システムの構築および変革を行うことができる。
- ③ 看護が社会に果たすべき役割を自覚し、専門職としての高い倫理観と責任感を基に看護実践を革新するための開発を行うことができる。
- ④ 人々の生活の質(Quality of life:QOL)、社会の発展および平和に貢献することができる。

カリキュラム・ポリシー

- ① 看護学の学術的発展を教育・研究を通して担う力を修得するための基盤となる看護理論や研究法を学ぶ授業を配置する。
- ② 環境と健康との関連を、地域、国内、国際的視野で捉え、看護がなすべき方向や課題を洞察、革新する力を養うための科目を配置する。
- ③ 専門分野の学識を深めるため、専門分野には特論と演習を配置する。
- ④ 看護を取り巻く環境で生じる現象を多角的な観点から捉え自立した研究能力を培うため、多様な研究法の講義・演習を配置する。

博士後期課程では、看護実践に根差した高い教育能力と研究能力を有する人材を育成するために、専門分野として基盤看護、広域看護、生涯発達看護、治療看護の4分野を設け、教育の一貫性を保持しながら学びを深めます。

基盤看護 分野

- 基礎看護学
- 看護学教育
- 国際看護学

広域看護 分野

- 地域看護学
- 在宅看護学
- 精神看護学

生涯発達看護 分野

- こども看護学
- 母性看護学
- 老年看護学

治療看護 分野

- 慢性疾患看護学
- クリティカルケア看護学

専門 分野

看護学共通科目

論文支援科目

[博士後期課程] 共通科目

科目/区分	授業科目
共通科目	看護学共通科目
	論文支援科目
	計13科目

博士後期課程の 特色

- 看護実践を創造し看護学の学術的発展を担う自立した教育研究者の育成
- 環境と健康の関連を多角的な視野で捉え看護を革新する力を有する人材の育成
- 人々の健康と生活に関わる社会システムの変革および構築を担う人材の育成

[博士後期課程] 指導教員の研究概要

分野	指導教員	研究課題
基盤看護分野	片田 範子	実践科学として取り組むべき現象を臨床体験や文献などの体系的探索を通して特定し、看護現象の構造を明らかにする。倫理的側面に焦点をあてた看護介入や現象も含め、看護方法論の開発や中範囲理論の構築などを目的とした研究的探求を支援する。
	藤本 悦子 杉本 哲夫	あらゆる分野での看護技術の検証と開発、睡眠、温・冷罨法、リンパ浮腫ケア、起立性低血圧に関する研究、組織再生に関する研究を指導する。また糖尿病に焦点を当て、これらの看護技術の在り方と開発に関する研究を指導する。
	近藤 麻理	グローバルな健康課題の中から課題を選択し、海外フィールドにおいて調査を行う研究に関する指導を行う。
	安酸 史子	看護学生教育、看護教師教育、看護師教育など看護学教育に関連するテーマについての指導を行う。
広域看護分野	上野 昌江	周産期からの子ども虐待予防における保健師の支援技術の明確化(保健師対象)、子ども虐待予防における困難事例へのケアモデルの構築(親や家族への支援)、個人・家族、集団、地域を対象とした地域看護実践における支援技術の研究に関する指導を行う。
生涯発達看護分野	加藤 令子	こども自身が持つ力を高め、主体的に医療に参加するためのケアプログラム開発、医療を必要とするこども・障がいのあるこども自身が自然災害に備えるためのプログラム開発、こども看護における看護職の役割拡大の研究に関する指導を行う。
	酒井 ひろ子	生涯を通じた女性のリプロダクティブ・ヘルス/ライツに関する健康課題、周産期周辺にある女性とその家族の健康課題、女性の健康課題、女性のエンパワーメントに着目した開発途上国支援の研究に関する指導を行う。
	水野 敏子	高齢者の終末期看護、特に在宅における独り暮らし高齢者の終末期看護、身体合併症を併せ持つ高齢者の急性期看護や急性期医療における老年看護および、高齢者を介護する家族の介護と負担、高齢者の転居に関する研究指導を行う。
治療看護分野	瀬戸 奈津子	糖尿病、慢性心不全、慢性呼吸器疾患、炎症性腸疾患等をもつ成人・高齢者の慢性疾患看護、および外来看護をテーマにした研究指導を行う。
	林 優子	クリティカルケア領域における、看護援助モデルの作成、概念や理論構築、介入研究などに関する研究指導を行う。

看護学研究科を選んだ理由、 現在の学びや大学の魅力等について話を伺いました。

博士前期課程

臨床で働いていた時に新人看護師の教育について学びたいと思い入学を決めました。また、西日本初のCNE(臨床看護教育者)を取得できるコースである点も理由の一つです。キャンパスは駅から近く、看護学部棟も新しくきれいで、学ぶ環境として最適です。研究は新人看護師の教育をテーマとする予定で、自分の研究が新人看護師教育の一助になればと考えています。

大学院の同期とは、コロナ禍の影響でオンラインでの交流から始まったにもかかわらず、すぐに打ち解けました。授業外でも何でも話し合える仲間であり、自分や教員の意見だけでなく、違う視点からの意見を聞くことができるのは本当に貴重だと感じています。

「看護教育論」では教育に関することを基本から学びま

した。様々なバックグラウンドを持つ他の受講学生の意見を交えながら、自身の看護教育観を築くことができました。

本学大学院には専門的な知識を持った先生が多くいらっしゃり、様々な分野のことを学べます。私自身入学前は、卒業後は病院に戻ろうと考えていましたが、大学院で様々なことを吸収して視野が広がりました。色々な人との出会いや学びがあり、自分が進みたい道が目の前に何本も広がっているような感じです。

受験生の皆さん、大学院で学んだことは必ず自身にとってプラスになると思います。そして、一緒に学んだ同期、先輩方、先生との出会いは何にも代えがたいものがあります。ぜひ一緒に頑張りましょう。



小原 侑子 さん
臨床看護教育者コース(看護学教育)

博士前期課程

私は、集中治療での患者ケアに興味を持ち、大学病院のICUで臨床経験を積み重ねてきました。生命の危機的状況にあり複雑かつ急激に変化する急性・重症患者や家族の看護は大変難しいと感じ、急性期における専門看護師の必要性、後輩育成におけるエビデンスを用いた教育等の必要性を実感し、CNS(専門看護師)の取得を目指して、大学院進学を決意しました。

CNSには6つの役割があり、その一つが相談です。「コンサルテーション論」の授業では、実技を通してコンサルテーションのプロセスを学修し、自分の長所と短所を知り、実践に活かす学びができました。

修了後はCNSを習得し、クリティカルケアの科学的根拠に基づいた看護実践を提供し、倫理的判断や臨床判断を

備えた実践力を基に後輩育成に取り組んでいきたいと思っています。

大学院の講義は、自分達で課題に取り組みプレゼンテーションを行うため、常に自分の考えが求められます。自分はどうのように考えるのか、それはなぜなのかという思考過程を積み重ねることで、常に自分に問いかけながら考えを整理し表現することの大切さを学びました。また、一緒に学ぶ院生の存在はとても大きく、課題に悩んだ時、仲間の存在があったからこそ励まし合いながら最後までやり遂げることができました。これからも患者さんや家族の看護に少しでも貢献できるよう、様々なことに疑問をもちながら探求する姿勢を大事にして研究に繋げていきたいと思っています。



吉井 裕子 さん
高度実践看護師コース(クリティカルケア看護学)

博士後期課程

本学大学院看護学研究科には、高い看護実践と研究能力育成のために必要な科目が配置されており、さまざまな実績を積まれた先生方が在籍されています。研究計画策定にあたっては、博士課程を指導されている教員や院生とのディスカッションがあるのが特徴的。研究を進める際は、自分の専門領域の教員はもちろん、他分野の先生にも相談に乗っていただけます。他分野の先生からも意見をいただくことで、視野を広げることができます。

研究は医療的ケアを必要とするこどもたちへの支援をテーマとしています。こどもたちはそれぞれの発達過程の中で、その子なりの考えを持ってさまざまなことに取り組むことができ、またその能力を発展させていく存在です。こどもの力を信じながら、こどもたちが自分の力を発揮できるよ

うな支援について研究を進めています。

「看護の理論と概念の構築」の授業では、看護理論とは何か、自分が実践でベースとする理論や、研究における理論枠組みについて更に深く学ぶことで、物事の見方が変化するきっかけとなりました。

修了後は、教育機関で看護職になる人材の教育や、地域に根づきながらさまざまなこどもたちの育ちを支える支援、研究を行っていきたくと考えています。

博士課程ではさまざまな知識を得ながら研究を行いますが、知ったつもりになっていたことや、これまで自分の見えていなかったものが見えるようになってきます。またいろいろな経験をしてきた学友とのディスカッションも学びになります。ぜひ一緒に学びを拡げていきましょう。



犬山 知子 さん
博士後期課程 生涯発達看護分野

博士後期課程

専門看護師として実践していた際に、再度、看護理論を学ぶ必要性を感じたことが、博士課程進学動機の一つであり、看護理論に関する講義科目を持つ、本学への入学を希望しました。私は、第2子を迎えた母親への支援を研究テーマとしており、coparenting(夫婦協同育児)の促進が、第2子を迎えた母親・家族に対する支援として有用ではないかと考え、研究をしています。きっかけは、臨床での実践において、第2子を出産した母親は、複数の子どもを育てる上での支援を必要としていましたが、看護師は、個別・集団、どちらを対象とした場合も、ケアを提供できておらず、加えて、少子化を問題視しながらも、複数の子どもを育てることに特化した支援が、社会としてもなされていないのではないかと感じたことです。

本学大学院では、研究をする力だけではなく、看護学を教育できる力を修得することを目的に、カリキュラムが構成されていることが魅力だと思います。そのため、必須科目だけではなく、多くの選択科目が用意されています。自身の専門分野に加え、その基盤となる様々な科目を通して、看護学を探究することにつながっていると感じます。

博士課程進学希望はありましたが、自身が子育て中でもあることから、今、進学しても学業を継続できるのかを悩みました。しかし、入学して学ぶ中で、博士課程で学ぶことがゴールではなく、今後へのスタートであると感じます。そのため、進学の希望を眠らせず、思い切って、進んでみることをお勧めします。



角野 美希 さん
生涯発達看護分野

学費・奨学金

学費

入学金	授業料等	初年次納付金 (合計)	2年間	3年間
			博士前期課程 納入金合計	博士後期課程 納入金合計
200,000円	600,000円	800,000円	1,400,000円	2,000,000円

※ 学費は予定のものです。 ※ 関西医科大学出身者は入学金減免制度がご利用いただけます。
※ いずれも諸会費は含みません。また、フィールドワークや実習等に伴う費用や経費が別途必要となります。

奨学金および減免制度

種 類		
看護学研究科貸与奨学金	関西医科大学附属の医療機関勤務を条件とする貸与奨学金(修士)	看護学研究科博士後期課程学生授業料免除制度(博士)

※ 詳細は本学ホームページ等をご確認ください。 http://www.kmu.ac.jp/juk/fon_graduate/expense/index.html

施設紹介

附属病院に隣接した枚方キャンパスに、 先進の設備・ICT環境を備えた 新学舎を建設

本学は枚方キャンパスに医学部及び附属病院を有しており、そこに新たに6階建ての看護学部／看護学研究科棟を建設しました。シミュレーションルーム、看護学研究科専用の大学院博士研究室、大学院修士研究室、大学院講義室(3室)、大学院演習室(3室)を備えており、その他コンピューター室、図書館、遠隔講義室、ロッカー室等を看護学部と共用しています。また、隣接する医学部棟には、図書館本館、学生食堂、オープンラウンジ、シミュレーションセンターなどがあり、必要に応じて利用することが可能です。



大学院博士研究室



大学院演習室



生活・療養支援研修室



図書館

News

「科目等履修生」2020年4月から募集

博士前期課程・博士後期課程ともに「科目等履修生」の受け入れを開始しました。原則、希望する課程の「出願資格※」がある方であれば受講することができます。登録単位数は、年間10単位までを限度とし登録することができます。また、修得した単位は、大学院等へ入学された場合、修了要件の単位として認められます。「科目等履修生」の開講科目、出願資格は本学サイトに記載しています。詳細は看護学部事務部(nursing@hirakata.kmu.ac.jp)までお問い合わせください。

※詳細は「募集要項」をご確認ください。



よくある質問

研究室訪問はできますか？

5月および10月に、大学院入試説明会を開催します。その際に施設見学や研究室訪問が可能です。また、指導教員に直接ご連絡いただき、調整いただくことも可能です。なお、出願にあたっては事前に志望する専門領域の指導教員との相談が必要です。連絡先はHPに掲載されています。

博士
前期課程



博士
後期課程



過去問題の閲覧はできますか？

電話もしくはメール等により、事前にお申込みいただくことにより、看護学部事務部に閲覧が可能です。詳細は看護学部事務部(nursing@hirakata.kmu.ac.jp)までお問い合わせください。

入試情報 [博士前期課程／博士後期課程]

大学院入試説明会 《第1回》2021年5月15日(土) 《第2回》2021年10月2日(土)

変更する場合があります。
ホームページでご確認下さい。

	夏期日程	冬期日程	夏期／冬期共通	
願書受付期間	2021年7月30日(金)～ 8月13日(金)必着	2021年11月12日(金)～ 11月26日(金)必着	試験会場	関西医科大学 枚方キャンパス 看護学部棟
入学試験期日	8月29日(日)	12月12日(日)	募集人数	博士前期課程(20名)、博士後期課程(5名)
合格発表	9月3日(金)正午	12月17日(金)正午	検定料	35,000円
入学手続期間	9月3日(金)～ 9月15日(水)	12月17日(金)～ 12月28日(火)	試験科目	前期課程: 外国語(英語)、看護専門、面接 後期課程: 外国語(英語)、看護共通、面接

(出願資格)

次のいずれかに該当する者

研究者コースを志望する入学志願者について

- (1) 学校教育法第83条に定める大学を卒業した者及び2022年3月に卒業見込みの者
- (2) 学校教育法第104条第7項の規定による学士の学位を授与された者及び2022年3月31日までに授与される見込みの者
- (3) 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者及び2022年3月31日までに修了見込みの者
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者及び2022年3月31日までに修了見込みの者
- (5) 我が国において、外国の大学の課程(その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限り)を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置づけられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するもの当該課程を修了した者及び2022年3月31日までに修了見込みの者

高度実践看護師コースを志望する入学志願者について

上記の出願資格(1)～(9)のいずれかに該当する者で、入学の時点で看護臨床経験を原則として3年以上有する者

- (6) 専修学校の専門課程(修業年限が4年以上であること、その他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る)で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者及び2022年3月31日までに修了見込みの者
- (7) 文部科学大臣の指定した者(昭和28年2月7日文部省告示第5号)
※出願資格審査必要
- (8) 大学に3年以上在学し、又は外国において学校教育における15年の課程を修了し、所定の単位を優秀な成績で修得したと本研究科が認めた者
※出願資格審査必要
- (9) 本研究科において、個別の出願資格審査により大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、2022年3月31日までに22歳に達する者
※出願資格審査必要

博士
前期課程

臨床看護教育者コースを志望する入学志願者について

上記の出願資格(1)～(9)のいずれかに該当する者で、入学時点で保健師、助産師、看護師免許のいずれかに基づく臨床経験(教育歴を含む)を原則として3年以上有する者

博士
後期課程

次のいずれかに該当する者

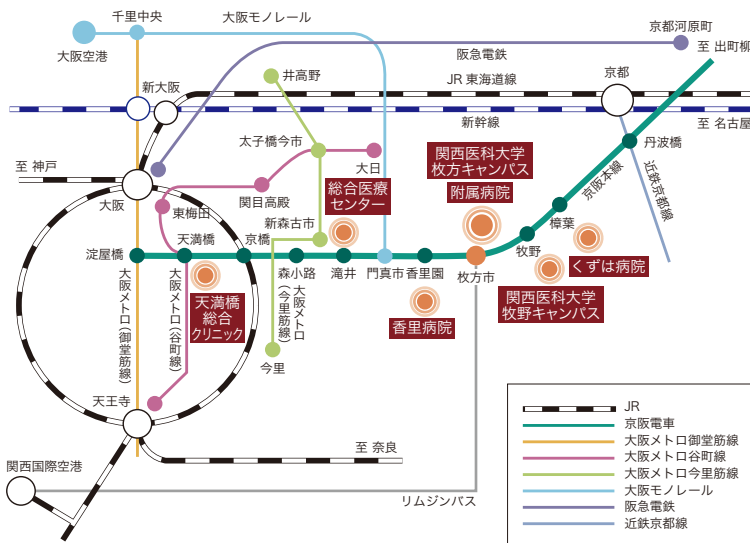
- (1) 修士の学位又は専門職学位を有する者及び2022年3月までに修士の学位を取得見込みの者
- (2) 外国において修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び2022年3月31日までに授与される見込みの者
- (3) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び2022年3月31日までに授与される見込みの者

- (4) 我が国において外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置づけられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するもの当該課程を修了し、修士の学位または専門職学位に相当する学位を授与された者及び2022年3月31日までに授与される見込みの者
- (5) 文部科学大臣が指定した者(平成元年文部省告示第118号)
※出願資格審査必要
- (6) 本研究科において、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者で、2022年3月31日までに24歳に達する者
※出願資格審査必要

※詳細は募集要項をご確認ください。

枚方キャンパス 交通アクセス

大阪・京都の中間に立地。キャンパスは京阪電車「枚方市」駅前、附属病院に隣接しています。(京阪電車「枚方市」駅徒歩3分)



※本大学院案内の撮影は新型コロナウイルス感染症の感染対策に十分留意して行っています。※本冊子の掲載内容は2021年3月時点の内容です。